



NPO PTPL “ともいき” 便り No.139

平成 30 年 (2018 年) 1 月 20 日発行

■大寒 (だいかん) 平成 30 年 1 月 20 日から 2 月 3 日までの節気

寒中お見舞い申し上げます。20 日から「大寒 (だいかん)」の節気にはいりました。「大きな寒さ」と書く通り、一年で一番寒い季節です。大雪が降り、氷がはりつめるころ。みなさま、いかがお過ごしですか。

朝の愛犬との散歩道にも霜柱がたっています。霜柱をみると、つい踏みたくなるのはなぜでしょう。我が家の犬は今年の 5 月 4 日で 17 歳になります。寒い日の朝と夜の散歩のときには、くつを履かせてあげたくになります。でもたぶん、拒否すると思います。洋服もレインコートも拒否。よろよろと、でもしっかりと歩いています。そんな柴犬まると 72 候 (※) ごとに散歩をして身近な季節の変化をお知らせしているフェイスブックがあります。もう、7 年になります。まるの散歩道も季節とともに、時とともに変化していくのだなとしみじみ感じます。 <http://ptpl-maru72.seesaa.net/> (柴犬まる的七十二候散歩)

ともいき暦 (<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2018/>) で大寒の行事をいくつかピックアップしてみました。

1 月 20 日は、二十日正月。正月の終わりとなる節目で、正月の祝い納めとして仕事を休む、物忌みの日です。この日をもって神祭りの月、すなわち正月としての行事は全て終了。京阪神地方では、正月に用いた鰯(ぶり)の骨を二十日の間、酒粕の中に入れ、ゴボウ・大根などと一緒に煮て食べることから骨正月ともいわれています。

1 月 27 は、若草山山焼き。奈良県奈良市若草山の山焼きの起源については、東大寺と興福寺の境界争いを水に流すために行われたとか、山上にある鶯塚(古墳)の例を慰めるために行われたとか諸説ありますが、現在は、害虫を除き、わらびやススキなどの草の芽をよくする目的で行われています。午後 6 時、打ち上げ花火と消防団員が鳴らす火付けのラッパを合図に点火します。燃焼時間は 40

～50分ほどです。奈良の町に春をしらせる行事です。

そして大きな行事が、2月3日の節分です。季節の変わり目で、立春、立夏、立秋、立冬の前日をいいますが、いつからか立春の前の節分だけを祝うようになりました。これは立春正月、すなわち一陽来復して春になるという考えからきているそうです。翌日から年の初めであること、気候が冬から春になるということで、この日は一年の最後と考えられ、邪気をはらい、幸せを願ういろいろな行事が行われてきました。

例えば、豆まき。豆をまくのは、一説には、「ま・め」の「ま」に、「魔物の魔」、「め」に目玉の「目」を重ねて、「豆」は「魔物の目を射つ力がある」から、などと言われています。地方によっては、殻に入ったままのナンキン豆を使うところもあるそうです。我が家では、節分の日に玄関に「やいかがし」を刺します。柊の枝に焼いたイワシの頭をさした鬼祓のおまじないです。鬼は柊の葉に刺さって痛み、鰯の悪臭にびっくりして逃げていくと考えられていました。面白い風習ですね。

寒さ厳しい「寒中」の季節も、節分をもって「寒の明け」となります。翌日は立春です。「春」という字が出てきました！

大寒の季節、くれぐれも、お体に気をつけてお過ごしください。

(※72候は、1年を72にわけてほぼ5日ごとに季節の特徴を記した暦のことです)

すとうあさえ (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 会員)

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」

●日本 2018 ジャパネスク・・・あなたと日本の話をしてみたい・・・ Vol.1
あなたと日本の話をしてみたい。世界中がグローバリズムの行き詰まりで、先の見えないこの時代だからこそ日本について語りたい、それが私の願いであり、望みです。

平成の時代が終わろうとするとき、明治や昭和の激動を改めて思い起こさずにはられません。

平成30年は明治維新150周年にあたります。慶応4年（1868年）4月、江戸城の無血開城、同年9月8日（10月23日）に明治と元号が改められました。

15代265年にわたる徳川幕府の時代は、平安時代300年に次ぐ戦乱なき泰平の世でした。その時代、朝廷と公家の文化と、幕府と武家の文化が花開きました。

明治維新はそれらを旧弊として廃して、欧風の文明開化を推進しました。

昭和の敗戦後は米国風の文化と暮らしを理想としてきました。それが色褪せた現代、混沌とした世相の底に流れ続ける心情や感性があるとすれば、そこに見えるのが日本的なるもの、すなわち「ともいき」「ともうみ」「ともさち」そして「和」のジャパネスクです。平成30年1月

日本 2018 ジャパネスク あなたと日本の話をしてみたい。

●「ジャパネスク女子」の時代が来つつあります。

ここ3~4年来の傾向のようですが、日本の伝統文化や歴史を学ぼう、体験しようという女性が年々少しずつ増えてきているようです。

まだ地味な動きですが、特に若い女性の間で「日本を知る」、「日本をもっと知りたい」というひとつの動き、流れができつつあるということでしょう。

現在、世界は混沌として不安定でその上、問題が山積しています。政治・経済・教育・科学技術・環境・エネルギーなどなど、どれをとっても社会はかつてないほど大変革の中にあるようです。

NPO PTPL が提唱するように、こういう時代だからこそ、われわれ日本人ひとりひとりが「日本とは」「日本人とは」「ジャパネスクとは」をしっかりと考え、見据え、日本人らしからぬ日本人も増えてきているいま、日本にも、世界にも「ともいき」「ともうみ」「ともさち」そして「和」の大切さを訴え、理解してもらう時代が来ています。

まだ小さな動きですがその先鞭としての「ジャパネスク女子」の胎動は大きな意味があると感じます。

勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局便り

- 松の内も終わり、皆さん、お忙しく充実した日常生活をお過ごしのことと思います。

さて、理事長の文章にもありますように、ジャパネスクのテーマを 2018 年、2019 年、2020 年と年ごとに設定し(2018 年は「あなたと日本の話をしてみたい」)、テーマに沿った理事長の考え方などをフェイスブック・ジャパネスクでもお伝えしていきます。是非とも、お知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

- 是非、NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

- 会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく願いします。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話：03-6432-5911 FAX：03-6432-5912

Email：info@ptpl.or.jp